

体育における GIGA 端末を活用した授業展開

日 時：11月17日（水）13:40～14:25

場 所：体育館

対 象：3年 14名

授業者：齋藤工 教諭

1 遊佐町立吹浦小学校・児童の特徴 学級数：7学級、児童数73名、教員数11名

令和2年度より山形県教育委員会「ICT活用による学習活動充実の推進事業」委託、遊町教育委員会より「ICT教育推進拠点校」の指定を受けている。授業でのICT活用につなげるため①ICT活用ポイントのピクトグラムによる明確化。②日常的に研究を高め合えるフレンド制によるOJTと校内研修・自己啓発の連携。③仮説検証型ではなく、実践型研究とする。等の取り組みを実施している。

一人一台タブレット、タッチペンを使用。グループウェアはGoogle Workspace for Education。各教室にWi-fiが設置され、電子黒板を導入している。

2 学校研究

研究主題：学ぶ楽しさを味わい豊かに考える子どもの育成 ～豊かに考えるためのICT活用～

3 単元名・単元の目標

単 元 名：器械運動（マット運動）

単元の目標： ○マット運動の回転系や功技系の基本的な技の行い方を知ることができるようにする。

（知識及び技能）

○回転系や功技系の基本的な技をできるようにする。

（知識及び技能）

○自己の能力に適した課題を見つけ、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力）

○運動にすすんで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気をつけたりすることができるようにする。

（学びに向かう力、人間性等）

4 単元計画（全8時間 本時4時間目）

① 回転系や功技系の基本的な技を身につける（6時間）

ICT：大型提示装置、NHK for School、iPad（動画撮影用）

② できるようになった技を発表し、さらに挑戦したい技に取り組む（2時間）

ICT：大型提示装置、NHK for School、iPad（動画撮影用）

5 主に活用した機器・コンテンツ

・iPad（一人一台タブレット） ・大型提示装置 ・Chromebook（NHK for School）

6 本時の指導

(1) (目標) 技のこつやできばえを友達に伝えたり技のポイントを考えたりしながら、練習に取り組む。

【思考力、判断力、表現力】

(2) 指導過程

時間※ ¹	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力※ ²
導入 10分 一斉 A 1	<ul style="list-style-type: none"> ●準備運動をする。 ●めあての確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○NHK for School のお手本動画を大型提示装置で示し、前時に確認した技のポイントを確認する。 (前時に学習カードにまとめたことを発表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Chromebook ・大型提示装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・A1 ①d ステップ2 インターネット上の情報の閲覧・検索
展開 25分 個別 B 1 B 3 B 4 協働 C 1 C 2	<ul style="list-style-type: none"> ●後転、開脚後転の練習をする。 ●自分の技の動画を撮影してもらい、お互いに指摘し合ったり、お手本動画と見比べたりしながら改善する。  <p>お手本のチェック</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ内で iPad によって動画を撮影し合い、自分の技を確認する。 ○撮影した動画をグループ内で見ながら、ポイントが抑えられているか話し合う。 ○撮影した動画と大型提示装置に映されたお手本を比べて、お手本と違っているところを探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・iPad ・大型提示装置 ・Chromebook  <p>自分の技の チェック</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A2 ①c ステップ1 共通と相違、順序などの情報と情報との関係 ・A2 ①g ステップ1 情報を組み合わせる方法
まとめ 10分 個別 B 3	<ul style="list-style-type: none"> ●本時の学習についてまとめ、振り返りを発表する。 ●後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の動画を見ながら上手かったところと、上手いかなかったところ、その原因を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・iPad 	<ul style="list-style-type: none"> ・A2 ②b ステップ1 情報の活用を振り返り、良さを確かめること

※1 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※2 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例 (IE-School における指導計画を基にステップ別に整理したもの)】(令和元年度版)全体版」に基づく表記を示す。

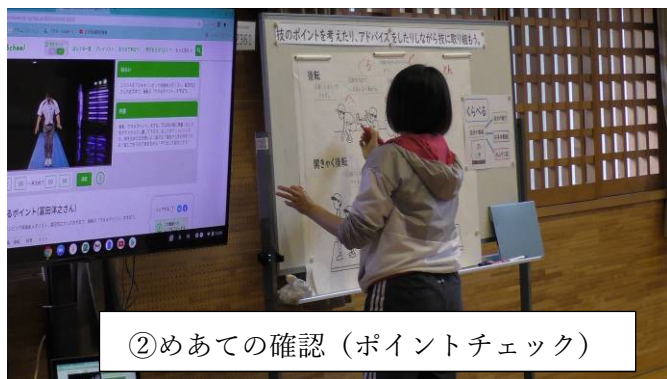
7 県教育センター所感

○グループ内でお互いに自分の技を iPad で動画撮影し、それを見ながら指摘し合っていました。一人では意識しなかった部分も、対話することで「気づき」が生まれ、技の上達につながっています。

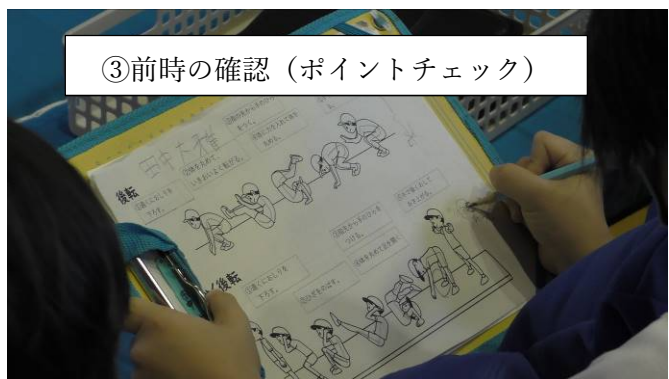
○自分の好きな時間に自由にお手本動画を再生・確認できる環境であるため、「個別最適化された学び」が実践されています。個々の児童の達成度やできばえによって、お手本動画を見るポイントがそれぞれ違い、児童が主体的により高い目標設定をしていました。



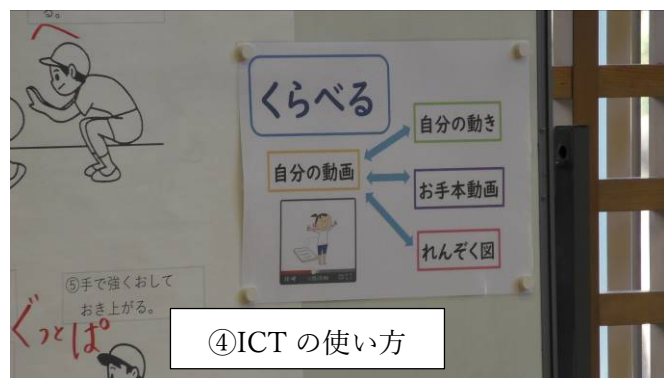
①最初の準備運動



②めあての確認 (ポイントチェック)



③前時の確認 (ポイントチェック)



④ICT の使い方



⑤自分の技とお手本動画を比べる



⑥お手本動画と同時に撮影



⑦気づきが難しい班には補助に入る



⑧児童の課題に合わせたマットの準備